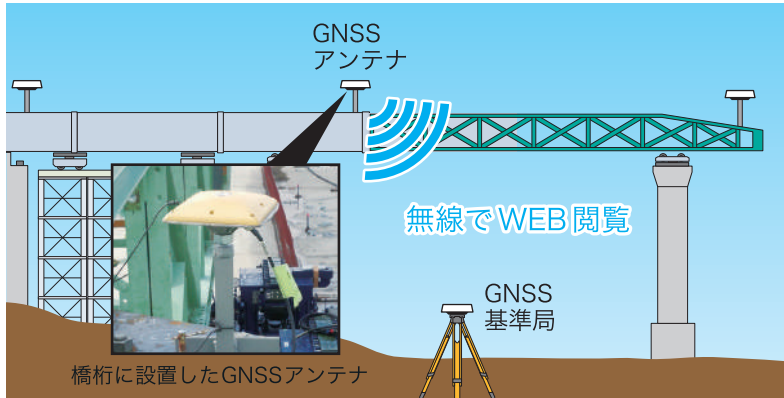


橋梁桁変位自動計測システム 3Dブリッジ



NETIS:KT-130050-A

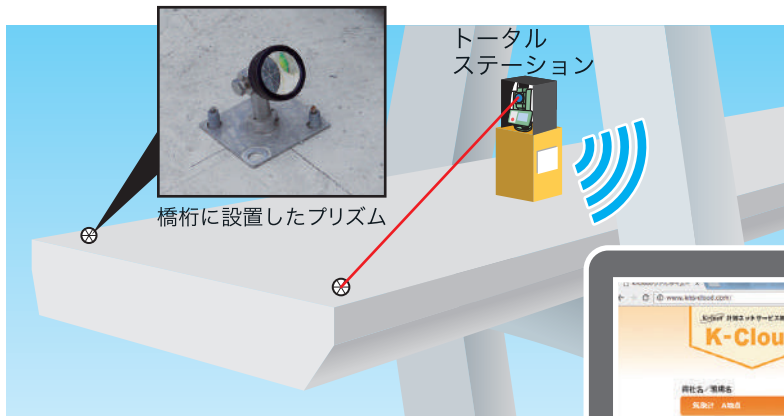
桁架設工事における桁の位置情報を3次元座標で管理し、設計値との差分を表示するシステムです。差分を見ながら施工を行うことで精度向上と安全管理に貢献します。設計値と実測値の情報をリアルタイムに取得することで、計測のために作業を中断する必要がなくなります。



送り出し工法の例

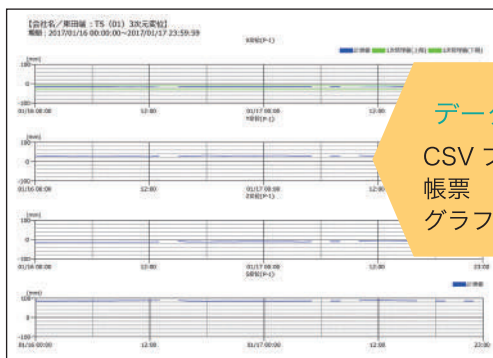
GNSS アンテナを手延の先端と桁の前方・後方に設置して座標データをリアルタイムに取得します。設定した設計値と実測値の差分を数値と図で表示します。

送り出した桁が管理座標値を超えるとパトライトで警報発令するオプションもあります。



斜張橋、張り出し工法の例

端部にプリズムを設置してトータルステーションで計測し、座標データを取得します。設定した設計値と実測値の差分を表示します。



データ出力
CSV ファイル
帳票
グラフ

グラフ (PDF)



実績



ケーブルエレクション工法



クレーンベント工法



張り出し工法